

## 【6】針尾地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

### “お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい針尾のまちにするために、地域の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加された皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

### 第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！

～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日 程：平成19年6月2日（土）

内 容：●お茶の間クイズ

●地域マップづくり

●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは針尾地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う針尾地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



#### 【よかところ】

- 新鮮な食べ物が豊富（魚や野菜など）
- 緑に囲まれ自然が美しい
- 西海橋、無線塔などの名所がある

#### 【気になるところ】

- 買い物などが不便
- ひとり暮らしの高齢者が多い
- 路線バスが少ない

### \\ 皆さんも針尾地区“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！ //

**問1** 「針尾無線塔」は、大正11年に建設されたもので、コンクリート製の3本の塔から構成され、正三角形形状に配置されています。さて、3本の塔の間のそれぞれの距離は何メートルでしょうか？

- ①300m      ②316m      ③407m

**問2** 第2次世界対戦終結後、浦頭には中国や南方諸島などから多くの人が引き揚げて来られました。さて、昭和20年10月14日から昭和25年4月の間に、どれくらいの人が引き揚げて来られたでしょうか？

- ①約31万人      ②約140万人      ③約269万人

**問3** 昭和30年に、佐世保市と西彼半島つなぐ橋として完成した「西海橋」の長さは何メートルでしょうか？

- ①316m      ②375m      ③382m

※答えはP8の下にあります。

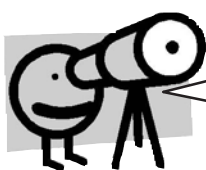


## 第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！  
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成19年6月30日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム  
●気になり具合診断  
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

### 【問題】

ごみのポイ捨てが多い



### 【“みんなにできること”の意見】

- 心に訴えるような標識を立てる
- 各自がもっと自覚するようにする
- 空き缶は家で捨てるようにする

## 参加した皆さんの感想から

◎いろいろな世代の人たちと話し合いながら、地域のことについて考えることができました。様々な視点があることに気づきました。

◎いろいろなアイデアが出されて、地域の力を高めるきっかけになりました。この会を通して前進していければいいと思います。

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。



**まずは、針尾地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切です。**

この“お茶の間トーク”での意見をもとに、福対協が中心となってまとめた、次のページからの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！

